

# 日和佐町明丸地先におけるハマチ養殖場底質調査

酒井 基介・湯浅 明彦・牧野 賢治

## 目 的

日和佐町明丸地先におけるハマチ養殖場周辺域の底質環境を把握する。

## 方 法

調査は平成6年6月3日に図1に示した調査地点で実施した。採泥は調査船「とくしま」によりスミス・マッキンタイヤ採泥器を使用して行い、表層泥を分析に用いた。分析はCOD・全硫化物・強熱減量および底質の性状等について実施した。

## 結 果

調査結果を表1に示した。

COD (O<sub>2</sub>mg/g 乾泥) は 0.78~4.86 の範囲にあり、生簀沖の St.4, St.6, St.8 で高かった。

全硫化物 (Smg/g 乾泥) は 0.00~Tr (検出限界以下) の範囲にあり、St.10 でのみわずかに検出された。St.10 では底質が砂礫であったため汚れの度合いが小さいと判断し、分析に他の地点よりも多くの試料を用いたため検出されたと思われる (ただし、検出量が非常にわずかであったため数値を読みとることはできなかった)。

強熱減量 (500℃, %) は 1.3~3.6 の範囲にあり、有機物量を示す値として、COD と同様に St.4, 6, 8 で高い傾向があった。全体的にみると昨年並かあるいはやや低めであった。

本年も昨年と同様に、水深の深い沖側の地点で汚れの負荷の度合いが大きいという結果が得られた。また、全硫化物、強熱減量に比べると COD だけは昨年よりも沖側地点でかなりの減少であった。

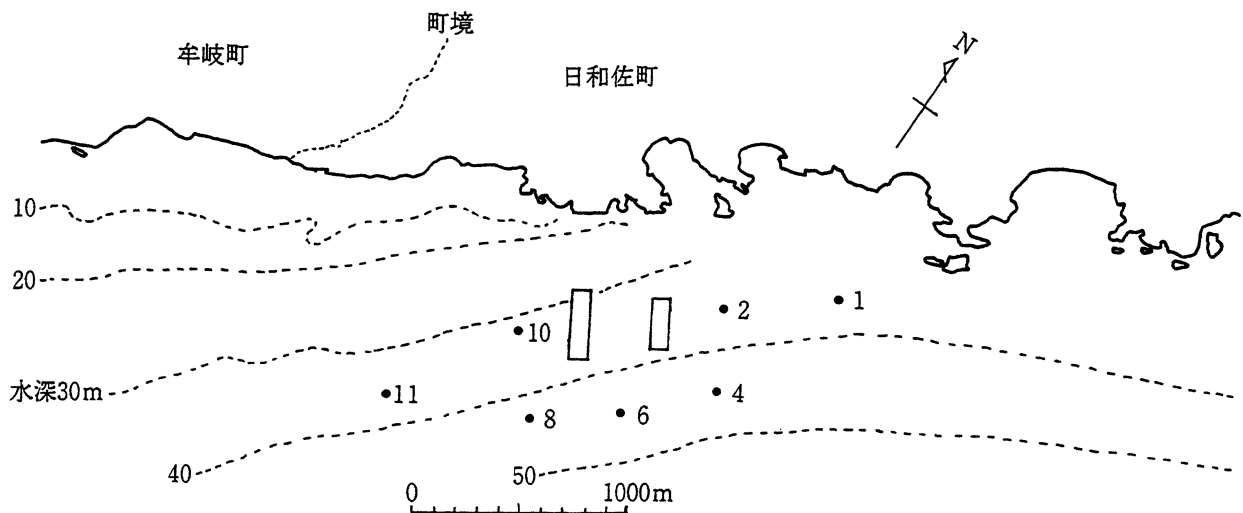


図1 海部郡日和佐町明丸地先におけるハマチ養殖場周辺域の底質調査地点

(●：底質調査地点、□：生簀設置場所)

表1 日和佐町明丸地先におけるハマチ養殖場周辺域の底質調査結果

(調査日：平成6年6月3日)

採泥地点	採泥時間 (時：分)	採泥水深 (m)	乾泥率 (%)	COD (O <sub>2</sub> mg/ g乾泥)	全硫化物 (Smg/ g乾泥)	強熱減量 (%) 500℃	底質の性状					その他		泥温 (℃)
							浮泥 (mm)	外觀	泥色 浮泥・浮泥以外	臭気	粘性	貝殻	生物	
1	09:36	39	70.6	2.14	0.00	2.0	2	砂	淡褐・灰	不明	中	少	多毛類	20.4
2	10:04	39	66.3	2.49	0.00	1.3	2	砂	淡褐・灰	弱	小	少	多毛類	20.7
4	10:22	49	60.8	3.98	0.00	3.6	2	砂泥	淡褐・灰	硫化臭・弱	中	少		20.5
6	10:51	45	61.8	4.86	0.00	2.7	3	砂	淡褐・灰	不明	小	少	多毛類	20.5
8	11:05	42	66.5	3.34	0.00	2.5	2	砂	淡茶・灰	不明	小	少		20.9
10	11:18	29	85.7	0.78	Tr	1.3	0	砂礫	・灰黒	不明	小	多	多毛類	21.6
11	11:37	27	67.7	1.56	0.00	1.4	1	砂	淡茶・灰黒	不明	小	多	多毛類	21.5

Tr：検出限界以下